

和歌山

和歌山

和歌山支局 〒640-8241
和歌山市雑賀屋町東ノ丁16
☎073-422-1144 FAX 422-1146

湯浅通信部 ☎073-482-1060
湯坊通信部 ☎0738-22-0788
紀南通信部 ☎0739-22-1541
串本通信部 ☎0735-62-0324
新宮通信部 ☎0735-22-7178
橋本通信部 ☎0736-33-4833

ホームページ
www.yomiuri.co.jp/local/wakayama/

購読申し込み・配達 ☎0120-4343-81
広告のご用は ☎073-422-2115
読売旅行は
和歌山 ☎073-433-1366
田辺 ☎0739-81-3171

熱き心 我は日本人なり

1964年東京五輪を呼んだ男 和田勇



遭った。窮状を知り、選手団を自宅に泊めたのが和田だった。

異国での生活に戸惑わないよう和歌山の郷土料理を振る舞い、選手手を喜ばせた。大会では古橋広之進が3種目で世界記録を樹立し「フジヤマのトビウオ」と称賛さ



和田(右)と妻の正子=和田勇資料館提供

17年3月、64年五輪が舞台のNHK大河ドラマ「いだてん(19年放送)」に和田を取り上げてもらおうと、顕彰会を発足させた。18年には和田の次女を米国から呼んでシンポジウムを開催。高校生が和田の紙芝居を制作、銀行は写真

和田勇は1907年、米ワシントン州で生まれた。家庭の事情で4歳から5年間、父母の出身地の御坊市や由良町で過ごした後、再び米国で暮らした。

次女のメアリー・マリコ・ローズさん(78)(サンフランシスコ在住)は、64年五輪招致について「日本の関係者から父にお礼の電話が何度もかかってきた。何事にも全力を尽くす人だった」と振り返る。日系人向けの福祉施設の整備にも尽力した。

東京都の会社社長、小林良広さん(71)は70年代、「知らない世界を見たい」と渡米し、偶然和田に出会った。「職を探しているならうちにこい」。和田が経営するスーパーで働きながら、半年間自宅に泊めてもらった。「とにかく面倒見の良い人だった」と語る。

2001年2月、米国で死去。ローズさんによると、亡くなる少し前は、妻や子どもらに見守られながらベッドの上で日本の民謡を歌い、満足げな表情を浮かべていたという。



1949年、ロサンゼルスでの水泳大会に出場するために渡米した日本人選手団は、先の大戦での反日感情から「ジャップ」(ジャパニーズ=日本人の蔑称)とさげすまれ、ホテル側の宿泊拒否に

58年、田畑から五輪招致の



委員就任を要請され、快諾。妻正子と一緒に私費で中南米10か国を巡り「敗戦からの復興を目指す日本に力を貸してほしい」と説いた。熱意にうたれたメキシコの関係者が各国に紹介状を書き、東京への支持が集まったとされる。

和田の功績を知人から聞かされ、私心なく五輪招致に尽くした姿勢に感銘を受けた。「生きざまを広めたい」と、所属する御坊ロータリークラブや市と連携し、顕彰碑のほか、「和田勇資料館」(御坊市)の整備などに尽力してきた。

「オリンピックイヤー」が幕を開けた。東京から離れた和歌山でも、偉人の顕彰や、大会を支える裏方、アスリートの育成など、あらゆる角度から大会に関わる人々がいる。その奮闘を5回にわたって紹介する。

①和田の顕彰碑前で岡本さん(右)に前回東京五輪の旗などを渡し、思いを語るジャンさん(御坊市で) ②1949年、日本人水泳選手を自宅に迎え入れた和田(上段左から3人目)。右端に写る乳児はダイアンさん=ダイアン・ジャンさん提供 ③1972年ミュンヘン五輪の水泳競技で日本人選手に声援を送る和田(左から2人目)と田畑政治(右)